

MOUSA ①

ムーサ

令和 8 年度 高等学校用教科書 音楽 I

27 教芸 (令和 8 教 内容解説資料)

取り組みやすさに 配慮した選曲

YOASOBI《群青》をはじめ、
時代を彩った歌(→P.12)や、
《いのちの歌》などの
小中学校で歌った曲を掲載

(→P.5)

まずはリズムから

スモール・ステップを意識した構成・紙面

(→P.4)



新しい合唱曲やアンサンブル

宮下奈都作詞、三宅悠太作曲《いつか、海へ》(→P.12)
アベタカヒロ編曲 ヴォイス・アンサンブル《残酷な天使のテーゼ》

(→P.12)

(→P.6) 他

二次元コード コンテンツも充実

発声や楽器の奏法動画、
表現教材のピアノ伴奏音源 他

(→P.10)

「考えてみよう!」

主体的な学習を促すコーナーを新設

(→P.9)

新しいMOUSA①改訂のポイントは――

ムーサ

1 分かる・できる

2 コミュニケーション力

3 学びに向かう力

現行 MOUSA1 における改訂のポイントを引き継ぎ、さらに充実した学習を促すよう工夫しました。

改訂の
ポイント
1

分かる・できる

生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力の育成と、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を目指します。

● スモール・ステップを意識した構成

読譜が苦手であっても、まずはリズムから親しめるよう、リズムを意識できるような問いや教材を教科書の前半に掲載しました。

23小節目から(78小節目からも同様)「♪ ♪ ♪」のリズムが繰り返されている。それによって生み出される効果について考えてみよう。

(教科書 P.13)

教材に関連したソルフェージュ課題を取り上げ、スモール・ステップで効果的な学習を促します。

分割されたリズムを打つ練習 「3連符」や右ページで説明している「シンコペーション」のリズムの感覚をつかむために、次の譜例を打ってみよう。1～8のリズムを通して打てるようになったら、順番を入れ替えて打とう。また、各自1つずつリズムを選び、順に続けて打とう。

リズムを正確に打つ練習 拍を感じながらリズムを打とう。その際、休符が短くならないように注意しよう。

(教科書 P.14)

(教科書 P.18)

● スモール・ステップを意識した紙面

生徒が達成感を1つずつ積み重ねていけるように工夫しました。

ギターの各部の名称
ギターはクラシック・ギター(→P51)、フォーク・ギター、エレクトリック・ギター(→P112)に大きく分けることができる。形状は似ているが、フォーク・ギターはクラシック・ギターに比べてボディが少し大きく、共振しやすくなっている。ここではフォーク・ギターを取り上げる。

姿勢と構え方
●ピッキングの仕方
肩を軽く曲げて、ボディにのせる。腕を伸ばして、ピックを握る。足は肩の幅で開く。右足の付け根にボディの中心をのせる。その際、サウンド・ホールが上を向くようにする。

チューニング
チューナーを使って各開放弦の音を確認する。まず第5弦の開放弦の音をピアノで合わせ、その音を基準に残りの弦を順に合わせる。いっぺんにその音よりも高くして少しずつ調整していく。その際、合わせたい音よりも音が低い場合は、いっぺんにその音よりも高くして少しずつ調整していく。

フィンガー・ガードと音の関係
第1～5弦の開放弦の音と1フレット目の音は同じ音である。

左手のポジション確認
右の譜例を低い音から順に弾いて左手のポジションを確認しよう。ポジションを覚えたら、〈木星〉のメロディーを低い音域、高い音域の順に演奏してみよう。

木星 (管弦楽組曲《惑星》から) グスターヴ・ホルスト 作曲
Andante maestoso
F G C Em F G
Am Em F G C Fm7 G C

弦を押さえた指をスライドさせて演奏しよう
STEP 1
1. 右図の楽譜に示したように弦を押さえる(下の写真参照)。「ダウン・ストローク」(→P.49)で、このリズムを演奏しよう。
2. 次に、②に示したように弦を押さえる。同様に演奏しよう。
3. ③のように、1小節ずつ左手をスライドさせて演奏しよう。
そのとき、指を強くあまり動かさないように注意しよう。

STEP 2
下図のように弦を押さえる。STEP 1と同様に演奏しよう。

チャレンジ リズムを変えて演奏しよう。
「アップ・ストローク」(→P.49)も加えて、②を下の2つのリズムに変えて演奏しよう。

(教科書 P.46・47)

ストロークで演奏する前に1ステップ

左手でいきなり複数の弦を押さえるのではなく、まずは1音ずつフレットの位置を確認します。

左手のポジション確認
右の譜例を低い音から順に弾いて左手のポジションを確認しよう。ポジションを覚えたら、〈木星〉のメロディーを低い音域、高い音域の順に演奏してみよう。

木星 (管弦楽組曲《惑星》から) グスターヴ・ホルスト 作曲
Andante maestoso
F G C Em F G
Am Em F G C Fm7 G C

準備段階では生徒がよく知っている楽曲《木星》を取り上げました。和楽器の三線を扱ったページ(教科書 P.90・91)も同様に、「勘所」を確認するステップとして生徒がよく知る《島唄》を掲載しました。

● 取り組みやすさに配慮した選曲

取り組みやすく、かつ、生徒がよく知っている楽曲を増やしました。一例として、「小学生の音楽6」に掲載されている《いのちの歌》を、MOUSA1(教科書 P.66・67)ではリコーダーの教材として取り上げました。歌詞を載せて、二部合唱としても使用できるようになっており、「授業の始めに二部合唱できる簡単な曲が欲しい」という声にも対応しています。

二次元コードコンテンツの充実

音声や動画など充実した内容の二次元コードコンテンツを用いて、実際に視聴しながら確認することにより、知識を確実に習得できます。

動画

ドラムス Drums

ドラムスは、基本的に右のような楽器で構成されている。ドラムスの楽器は通常へ音階表で書かれるが、音高は関係なく、下のような音符を五線譜上の決まった位置に書き表す。

ペダルの奏法
BDとHHにはそれぞれペダルが付いている。BDはペダルを踏むとビーターが鼓面を打つ仕組みになっている。また、HHは左足でペダルを踏んだり踏んだりしてシンバルを開閉する。音符の上に○が付いているときはペダルを踏んで開けた状態でたたくオープン奏法、音符の上に+が付いているときはペダルを踏んで閉めた状態でたたくクローズ奏法である。何も記されていないときは、クローズ奏法と考えてよい。

スティックの持ち方
代表的な持ち方に、トラディショナル・グリップ(レギュラー・グリップ)、マッチド・グリップがある。握る部分は、スティックの重心の位置にもよるが、通から3分の1辺り一般的である。(Twist And Shout)では、マッチド・グリップを使うという。

キーボード Keyboard

キーボードはさまざまな音色を備えているので、バンドスコアのギターやベース、ドラムスのパートを全て1台で演奏することが可能である。例えば、ドラムスのパートにキーボードを用いる場合、各楽器が右の鍵盤図のような配置になっていることが多いので、BDとSDを左手で、その他の右手で演奏するといふ。音量の調節も容易なので、キーボードを活用してバンド・アンサンブルを楽しむ。

【基本的なドラム・セットの例】(奥前から見た場合)

クラッシュシンバル(CC)
ハイハットシンバル(HH)
タムタム(TT)
ライドシンバル(RC)
バス・ドラム(キック)(BD)
フロア・タム(FT)
スネアドラム(SD)
オープン奏法
クローズ奏法

【代表的なスティックの持ち方】

トラディショナル・グリップ(レギュラー・グリップ)
マッチド・グリップ

HH(クラッシュ奏法)
HH(ハイハット奏法)
HH(オープン奏法)
CC
RC
BD
SD
TT

その他 others

アンプのつなぎ方

エレキ・ギターやエレキ・ベース及び、キーボードは、アンプにつないで使用する。電源を入れたままアンプにシールド・コード(ケーブル)をつないで、インプット以外のジャックにつないでいらないように注意しよう。

エフェクター

アンプにはエフェクター(音色に特殊な効果を与える装置の総称)が付いていることが多い。代表的な機能として下のような種類がある。

- リバーブ：音に人工的な残響効果をつける。
- ディレイ：原音に遅れた音を加えて「山びこ」のような効果をつける。
- コーラス：原音にピッチの違う音を加えて音に深みを出す。
- オーバードライブ、ディストーション：音をひずませる。

(教科書 P.112 ～ 115)

ギターの奏法を動画で確認



「ギター」

(教科書 P.46 ～ 51)

ジャズの演奏を映像で鑑賞



指揮の振り方を動画で
分かりやすく解説

「What is JAZZ?」

(教科書 P.108・109)

ドラムスの演奏方法を動画で確認



「指揮にチャレンジ」

(教科書 P.41 ～ 43)

その他、発声や楽器
の奏法、外国語の
発音などを動画で
サポートします。

音声、テキスト

はしる まーちを み おおしてー

の んびりーくちが
おーよーいーでく だからあーる いて かえろうー きょう は あ る い
おーねーのーなか よりみちーなん か してたらー おい て か れ る
おーよーいーでく ぼくはあーる いて かえろうー きょう は あ る い

て
よ
て
かえろう
のいづも
かえろう

1994年にリリースされたこの曲は、シンガー・ソングライターの高橋和義(1966～)の4枚目のシングルで、子ども向けテレビ番組のオープニング曲に採用され、人気を得た。

拍子の強拍(1拍目)と弱拍(それ以外の拍)の位置をずらしてリズムに変化を与えることを「シンコペーション」と呼ぶ。例えば、右のの部分(例1)にあたる。(歩いて帰ろう)にもシンコペーションが用いられている。(例2)のようにシンコペーションを用いない場合と比べて違いを感じ取り、どのように歌い方を工夫するといふ考えてみよう。

強拍の位置をずらすことで、緊張感が生まれる

※4拍子の場合、3拍目は1拍目に次ぐ強拍と位置付けられる。

例1
はしる まーちを み おおしてー

例2
はしる まーちを み おおしてー

(教科書 P.15)

リズムを正確に打つ練習

拍を感じながらリズムを打とう。その際、休符が短くならないように注意しよう。

① ② ③ ④ I II ⑤ I II

pの手拍子 fの手拍子 pの足踏み fの足踏み

リズムを正確に打つ練習

拍を感じながらリズムを打とう。その際、休符が短くならないように注意しよう。

(教科書 P.18)

その他、外国語歌曲の原語歌詞の朗読やリズム読み、ソルフェージュ及びリズム課題の補助音源などで学習をサポートします。

二次元コードコンテンツ一覧

ピアノ伴奏	Wiegenlied (P.61)	言わない (P.121 ～ 123)	歓喜の歌 (P.60)	三味線 (P.92・93)
O Waly Waly (P.10)	天国と地獄 (P.64)	早春 (P.124 ～ 127)	Wiegenlied (P.61)	箏 (P.94・95)
Ave Maria (P.11)	いのちの歌 (P.66・67)	ギター伴奏	Les Champs-Élysées (P.78・79)	バンド・アンサンブルに挑戦 (P.112～115)
群青 (P.12・13)	Do-Re-Mi (P.70・71)	グリーンズリーヴス (P.64)	合唱パート別練習	ギター/キーボード・コード表 (P.156・157)
翼をください (P.14)	美女と野獣 (P.72・73)	Castle On A Cloud (P.65)	懐かしきケンタッキーの我が家 (P.128)	ソルフェージュ
歩いて帰ろう (P.15)	ハバネラ (P.76)	歌詞	いつか、海へ (P.129 ～ 131)	リズムを正確に打つ練習 (P.18)
若者のすべて (P.16・17)	闘牛士の歌 (P.77)	群青 (P.12・13)	奏法動画	メロディーを階名で歌う練習 (P.32)
'O sole mio (P.28)	Les Champs-Élysées (P.78・79)	歩いて帰ろう (P.15)	響く歌声を目指そう! (P.10・11)	音・リズムを聴き取る練習 (P.33)
Caro mio ben (P.30・31)	夕焼小焼 (P.99)	若者のすべて (P.16・17)	Clap, Tap with CUPS! (P.20・21)	作品例
花 (P.34)	龍月夜 (P.99)	いのちの歌 (P.66・67)	ヴォイス・パーカッション (P.26)	キッチン・ミーティング (P.22・23)
この道 (P.35)	紅葉 (P.100)	真赤な太陽 (P.118)	指揮にチャレンジ (P.41 ～ 43)	創作 2/3/4 (P.80 ～ 83)
むこうむこう (P.38)	故郷 (P.101)	クリスマス・イブ (P.119)	ウクレレ (P.44・45)	その他、参考資料
小さな空 (P.40)	京畿道アヒラン (P.105)	朗読・リズム読み	ギター (P.46 ～ 51)	Horn! 響きは時空を超えて (P.4・5)
夏の思い出 (P.42・43)	美しいエンメンタール (P.105)	'O sole mio (P.28)	チャイム (P.54・55)	音楽をつくる人、使う人、伝える人、楽しむ人 (P.27)
Heidenröslein (P.58)	真赤な太陽 (P.118)	Caro mio ben (P.30・31)	リコーダー (P.62・63)	郷土の民謡と芸能 (P.102・103)
Sah ein Knab ein Röslein stehn (P.59)	クリスマス・イブ (P.119)	Heidenröslein (P.58)	篠笛 (P.88・89)	ジャズ (P.108・109)
歓喜の歌 (P.60)	荒野の果てに (P.120)	Sah ein Knab ein Röslein stehn (P.59)	三線 (P.90・91)	ラチェットの演奏 (P.136)

教科書に縦書き歌詞が
掲載されていない教材
は歌詞を表示

ピアノ伴奏のある表現教材は
ピアノ伴奏を聴くことができます。

クリック音やパート別音源が
リズム練習をサポート



こちらの二次元コードより、実際の二次元
コードコンテンツをご視聴いただけます。



歌唱

多感な時期を迎えた生徒が楽しみながら幅広く音楽を学習できるような教材を精選し、提示の仕方を工夫しながら、ポピュラー・ソング、唱歌、芸術歌曲、合唱曲、ミュージカル・ナンバー、オペラ・アリアなどを取りそろえました。特に、長い間歌い継がれ、親しまれてきたものを豊富に扱うとともに、我が国の伝統的な歌唱も学習できるよう、能の謡を取り上げました。

合唱曲、ヴォイス・アンサンブル

本書のための書き下ろし作品

129

いつか、海へ

宮下奈都 作詞 / 三宅将太 作曲

♩ = 88ぐらい

いく せん の ひ と が ー と お っ て き た み ち を

M.

M.

6 ー た っ た ひ と り で あ る く ひ と り で ー

— B.O. — — — — —

— B.O. — — — — —

— — — — —

— — — — —

(教科書 P.129 ~ 131)

こちらの二次元コードより、楽曲の一部をご視聴いただけます。



日本の伝統的な歌唱

日本の伝統音楽への理解を深めることができるよう、能の謡を取り上げました。

掲載曲：《高砂》(教科書 P.86)／《羽衣》(教科書 P.87)

[illegible]

(教科書 P.87)

外国の歌曲

イタリア語とドイツ語の歌曲は定番曲を取りそろえました。原語歌詞の意味も掲載しています。フランス語はポピュラー・ソングを取り上げました。

新規掲載曲：《Sah ein Knab ein Röslein stehn》(教科書 P.59)／《歡喜の歌》(教科書 P.60)／《Wiegenlied》(教科書 P.61)

器樂

楽器や奏法の説明と、実際に演奏する曲の楽譜を見開きに配置し、常に確認しながら演奏できるように紙面構成を工夫しました。また、ポディー・パーカッション、パー型チャイムなど、グループ活動で協働しながら学習を進めることのできる教材や、さまざまな楽器編成によるアンサンブル教材など、バラエティー豊かな曲を取りそろえました。

ウクレレ

コード演奏やストローク奏法を無理なく楽しめるウクレレの教材を掲載しました。
楽器や奏法についても詳しく説明しています。

掲載曲：《Michael, Row The Boat Ashore》(教科書 P.45)／《真珠貝の歌》(教科書 P.45)

楽器や奏法の説明と演奏する曲の楽譜を見開きに配置

44

ウクレレ

19世紀末、ポルトガルからの移民によって小さな型の弦楽器がハワイに持ち込まれた。やがて移民たちがハワイの木材を使って楽器を作るようになり、「ウクレレ」を付けられて定着した。一言によって、ウクレレとはハワイ語で「彼を愛する」という。

各部の名称

写真はソファノ・ウクレレ

姿勢と構え方

首筋を伸ばす。

ボディを右足の内側と胸の間に挟むようにして持つ。

右手の人さし指は、爪の側面を強く当てる。

左手の人さし指は、爪の側面を強く当てる。

右手で弦を押さえるときは、肩を立ててフレットのすぐ近くを押さえる。

左手で弦を押さえるときは、肩を立ててフレットのすぐ近くを押さえる。

ヘッドが胸の辺りになるように構え、ネックを少し前に出す。

ヘッドを左手の人さし指の付け根付近にのせる。

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

肩から見たところ

ダイヤグラム

横の線が弦、縦の線がフレットを表している。●は押さえる位置、その中の文字は左手の指を示している。

●ダイヤグラムの例 (Gコード)

開放弦の音 (空音) (開放弦の音は図表にも、() 内には表裏の両方を示す。

開放弦の音 (空音) (開放弦の音は図表にも、() 内には表裏の両方を示す。

開放弦の音 (空音) (開放弦の音は図表にも、() 内には表裏の両方を示す。

開放弦の音 (空音) (開放弦の音は図表にも、() 内には表裏の両方を示す。

開放弦の音 (空音) (開放弦の音は図表にも、() 内には表裏の両方を示す。

開放弦の音 (空音) (開放弦の音は図表にも、() 内には表裏の両方を示す。

開放弦の音 (空音) (開放弦の音は図表にも、() 内には表裏の両方を示す。

開放弦の音 (空音) (開放弦の音は図表にも、() 内には表裏の両方を示す。

開放弦の音 (空音) (開放弦の音は図表にも、() 内には表裏の両方を示す。

開放弦の音 (空音) (開放弦の音は図表にも、() 内には表裏の両方を示す。

(教科書 P.44・45)

実際の演奏方法を動画で確認

ギター

3つのコードで演奏できる曲を取り上げ、ストローク奏法を学習します。
また、メロディーと伴奏(和音と低音)に分かれて楽しむことのできるアンサンブル曲も掲載しました。

掲載曲：《日曜日よりの使者》(教科書 P.48・49)／《第三の男のテーマ》(教科書 P.50)

アンサンブル

バー型チャイム用に編曲した《The First Noel》を新たに掲載しました。また、ボディー・パーカッションやバー型チャイムのアンサンブルでは、演奏する際の注意点や工夫例などを示し、グループで楽しみながら表現を深めることができるようにしています。

リコーダー

各学校や生徒の実態を考慮し、ソプラノとアルトのどちらでも演奏できる曲や、アルトの二重奏もしくはソプラノとアルトの二重奏で演奏できる曲などを掲載しました。

掲載曲：《天国と地獄》(教科書 P.64)／《C-a-f-f-e-e》(教科書 P.64)／《グリーンスリーブス》(教科書 P.64)／
《Castle On A Cloud》(教科書 P.65)／《いのちの歌》(教科書 P.66・67)

和楽器

各学校の実態に応じてさまざまな和楽器を選択できるよう、篠笛、三線、三味線、箏の4種類を取り上げました。楽器や奏法の説明と演奏する曲の楽譜をそれぞれ見開きに配置しています。

資料

基礎・基本の力

32

「音程を聴く」の練習は、ピアノの鍵盤から、ハ、ミ、ソ、ラ、シの5音程から始めよう。

solfege

ソルフェージュ

音程を読む練習

1から順に音高を付けずに聴かぬで聴こう。また、ピアノやキーボードで実際に弾いて音を確かめよう。

①

②

③

上から下へ1音ずつ

下から上へ1音ずつ

リズムを正確に読む練習

音高を付けずに、メロディーのリズムを聴かぬで聴こう。その際、手で鼓の辺りを軽く打ちながら拍を取ろう。

④

「楽譜を読めるようになった」と
実感できるよう、豊富な課題を提示

その他の資料

音楽をつくる人、使う人、伝える人、楽しむ人
(教科書 P.27)

オーケストラを知ろう (教科書P.148・149)

コード・ネーム(教科書 P.154・155)

ギター／キーボード・コード表(教科書 P.156・157)

作曲家の年表と主な作品 (教科書 P.158・159)

コードの押さえ方を動画で確認



歷史

日本音楽の流れ (教科書 P.96 ~ 98)

西洋音楽の流れ (教科書 P.144 ~ 147)

郷土の民謡と芸能 (教科書 P.102・103)

歌謡曲からJ-POPへの100年(教科書P.116・117)

音楽の楽しみ

Horn! 響きは時空を超えて (教科書 P.4・5)

小説や漫画で描写される音楽(教科書 P.17)

舞台芸術 (教科書 P.68・69)

(教科書 P.156・157)

令和8年度 MOUSA1 掲載曲

歌唱・器楽

■は新規掲載もしくは企画が変更されたもの

鑑賞

●令和4年度版から削除した曲

鑑賞 先住民たちの合唱（台湾）／イヌイットの喉歌（カナダ）／チャランゴ（ボリビア）／ナイ（ルーマニア）／バレー音楽《火の鳥》組曲（1919年版）／バラッド第1番 ト短調 op.23（F. ショパン）／《前奏曲集》第1巻から第10曲《沈める寺》／ピアノ・ソナタ第7番 変ロ長調 op.83（S. プロコフィエフ）／トッカータとフーガ二短調 BWV565／《ブランデンブルク協奏曲》第2番 ヘ長調 BWV1047から第1楽章／カンタータ第147番《心と口と行いと生きどまて》BWV147からコーラル《主よ、人の望みの喜びよ》／《マタイ受難曲》BWV244から第1部第1曲 導入の合唱《来たれ、娘たちよ、われとともに嘆け》

指導書について

【指導書の構成】

研究資料編・楽譜資料編・指導用CD・鑑賞用CD(セット販売)……定価未定

研究資料編

年間指導計画例とそれに対応した題材ごとの評価規準例、学習指導案例などを複数掲載しています。

授業を多角的にサポートする資料を掲載しています。

ソルフェージュの補充教材を掲載しています。

音楽史や楽典などに関するEXERCISEを掲載しています。

◆指導のポイントと楽曲解説をまとめた紙面の例

[illegible]

※紙面はサンプルです。文章やデザインなどは変更になる場合があります。

樂譜資料編

歌唱教材の伴奏譜の他、移調譜や別の編曲なども随時取り上げ、指導の便宜を図っています。

指導用CD

歌唱と器楽の教材の模範演奏、カラピアノ、合唱曲のパート別演奏(一部)などを収録しています。

また、イタリア歌曲とドイツ歌曲、フランス語の歌は原語歌詞の朗読も収録しています。

鑑賞用CD

厳選した鑑賞教材(一部)を収録しています。

予告 教師用WEBコンテンツについて

「各教材のワークシート(word・PDF)」「カトカトーンのサンプルファイル(ktk)他、
学習を支援するコンテンツをホームページから自由にご利用いただけます(現在準備中)。

最新情報：教芸Webサイト <https://www.kyogei.co.jp/>

検討の観点別に見た特色

	観 点	教 科 書 の 特 色
範 囲	●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	●多様なジャンルから精選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
程 度	●教材は生徒の心身の発達段階や能力の実態に適応しているか。	●歌唱教材においては、生徒の心情的な発達段階に応じた楽曲が取り上げられている。器楽教材においては、各学校の実態や生徒の習熟度に応じた楽曲が取り上げられている。また、鑑賞教材についても同様の扱いがなされている。
内 容	●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●〔共通事項〕は、学習指導を進めるうえで適切に扱われているか。 ●三つの柱を踏まえて、基礎的・基本的な学力の定着について適切な配慮がなされているか。 ●説明文やイラスト、写真などは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、配慮や取り組みはなされているか。 ●我が国や郷土の伝統音楽及び音楽文化に対する配慮がなされているか。	●幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が興味・関心をもって意欲的に学習を進めることができるよう配慮されている。 ●表現及び鑑賞に共通する指導内容として〔共通事項〕に示された「音楽を形づくっている要素」に関する学習が示されており、その考え方の具体的なヒントとなる「音楽を織りなすさまざまな要素」が掲載されている。 ●教材の内容は、三つの柱（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」）と相互に関連付けられており、基礎的・基本的な内容を学習することのできる教材や説明が適切に配列されている。 ●「思考力、判断力、表現力等」の育成を図ることができるよう、思考した内容の記述例や会話を参考に曲を分析する教材などが掲載されている。 ●説明文は平易な文章で書かれており、その配置も工夫されている。 ●イラストや写真の取り上げ方もアイディアにあふれ、音楽的感性を育成しながら知的理解を深められるよう配慮されている。 ●生徒が自ら主体的に学習活動を進められるように、各教材に学習内容や活動のポイントが明確に示されている。 ●創作の活動においては、生徒の能力に応じて弾力的に進められるよう配慮されている。 ●鑑賞の活動においては、我が国や郷土の文化の中で育まれてきた音楽の特徴を感じ取ることができるよう配慮されている。器楽の活動においては、各学校の実態に応じて取り組めるよう4種類の和楽器が取り上げられている。歌唱の活動においては、能の謡の一部を体験することのできる教材が掲載されている。また、音楽的側面からだけでなく、文化的側面からも捉えられるよう配慮されている。
構 成	●小学校、中学校における学習内容との系統性、一貫性に配慮されているか。 ●各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。 ●教材の配列は適切であるか。 ●教材の分量は適切であるか。	●小学校、中学校の義務教育における音楽科の目標の上に立った内容の教科書となっている。 ●歌い継いでいきたい日本の歌を小学校、中学校から一貫して取り上げており、日本の歌に対する配慮がなされている。 ●各教材に示された学習内容や活動のポイント、歌唱・器楽、資料の「ジャンル別MAP」などにより、各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てられるよう配慮されている。 ●表現教材と鑑賞教材との関連が図られており、複数の領域や分野を通じた題材設定がしやすいよう配慮されている。 ●学習指導要領の内容に即した教材が適切に配列されている。 ●表現教材と鑑賞教材との関連が図られているとともに、ページ間に張られたリンクによって、理解を深めたり関連付けたりすることができるよう随所に工夫がなされている。 ●豊富な分量の教材が扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟に対応できるよう配慮されている。
人 権	●国際理解、情報、環境、人権教育などに配慮されているか。	●全体を通して、人権教育に対する適切な配慮がなされている。また、諸外国の文化に対する理解を深めることについても配慮されている。 ●音楽に関する知的財産権について「音楽をつくる人、使う人、伝える人、楽しむ人」が掲載されており、生徒に分かりやすく説明されている。
体 裁	●全体の体裁は教科書として適切であるか。 ●印刷、製本などは適切であるか。 ●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	●A4判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。 ●表紙や扉からも音楽に対するメッセージが感じられる体裁となっている。 ●全ページにわたって美しいカラー刷りとなっており、楽譜、文字、イラスト、写真などが鮮明に印刷されている。 ●製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境に対して十分配慮されている。 ●全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。 ●ユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるよう配慮されている。
総 合 所 見	学習指導要領の内容に即した教材が適切に配列されている。確実に学習を進められるよう、各教材には学習内容や活動のポイントが示され、生徒の主体的な学習活動を促すとともに、指導者が歌唱・器楽、資料の「ジャンル別MAP」を使って、各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てられるよう配慮されている。また、各楽器の奏法や外国の歌曲の原語歌詞の発音などを視聴することができる二次元コードコンテンツを利用して、自宅でも予習や復習を効果的に行うことができる。	

別売 鑑賞参考教材ソフトについて

教科書に掲載されている「世界の諸民族の音楽」の授業展開を強力にサポートする鑑賞参考教材ソフトが、Blu-rayで登場！
迫力ある演奏のみならず、各国の風景や美しい民族衣装などの文化にも触れることができます。DVDをはるかに超える高解像度と、最新技術のマスタリングによる臨場感あふれるサウンドで楽しめます。



世界の民族音楽

- Blu-ray 1 枚／収録時間 202 分 ● 価格 19,800 円 (本体 18,000 円 + 税 10%)
- 全ての映像について、各分野の研究者によるライナーノーツ付き

この他、音楽鑑賞 DVD では「日本の伝統芸能 編」と「民族編」を販売しています。どちらも鑑賞や音楽史の授業に最適です。



日本の伝統芸能 編

- DVD 1 枚／収録時間 126 分
- 価格 19,800 円
(本体 18,000 円 + 税 10%)
- 雅楽、琵琶楽、能楽、文楽、歌舞伎の成り立ちと魅力を紹介
- 鑑賞演目は副音声解説付き



民族編

- DVD 1 枚／収録時間 148 分
- 価格 19,800 円
(本体 18,000 円 + 税 10%)
- 38 カ国、全 59 曲を収録
- 民族音楽研究家、江波戸昭先生の解説付き

第1表

高等学校用教科書需要票

見 本

発行者	番 号	27	略 称	教芸	需 要 数	生徒用	150	冊	
						教員用	2	冊	
教科 書	記 号	音I	番 号	027-901			計	152	冊
	書 名	MOUSA 1							

所在地
学校名
電 話

(全日制・定時制・通信制)

デザイン：松倉 浩・鈴木友佳

K 教育芸術社

- 本 社 〒171-0051 東京都豊島区長崎1-12-14 TEL.03-3957-1175 (代)
- 中部支社 〒460-0024 名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル8F TEL.052-678-3151 (代)
- 関西支社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-14-17-601 TEL.06-6943-7245 (代)
- 西部支社 〒751-0808 下関市一の宮本町2-7-14 TEL.083-256-4747 (代)

ホームページ <https://www.kyogei.co.jp/>

※環境に配慮した紙を使用しています。